

2022 年度 岩手県社会福祉士会実践研究発表会



【実践研究とは？】

社会福祉士として、より質の高い支援を提供するためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことで力量を向上することが大切です！

また、第三者に対して、援助の意義や効果を根拠と共に適切に説明できる能力も求められます。

さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を検討し、援助活動について、一緒に考えてみませんか？

1. 日程 2023年2月18日（土）13時00分 ～ 16時30分
2. 会場 オンライン開催（Zoom アプリ使用）
3. 対象者 (1) 岩手県社会福祉士会会員
(2) 岩手県医療ソーシャルワーカー協会会員 岩手県精神保健福祉士会会員
(3) 学生（大学生・専門学校生（通信課程含む））
(4) その他実践研究発表に関心のある方
4. 定員 80名（受付先着順）
5. 参加費 無料
6. 申込方法 下記の Google フォームから申込下さい。



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScF8kCdIBit5ZhMRisax7CkIQOq5oFYTgFKQTdgYV1JAx-OA/viewform?usp=sf_link

申込締切：2023年2月6日（月）必着

（岩手県社会福祉士会の HP からでも申込可能です。）

7. その他 当日使用する ID・パスワード等はメールにてご連絡させていただきます。
事前に Zoom アプリのインストールをお願いいたします。
8. 連絡先 〒020-0816 盛岡市中野二丁目 16-1 岩手県社会福祉士会事務局
【FAX】019-613-5506 【E-mail】yamaguchi@iwate-csw.or.jp

－ 実践研究発表会スケジュール（予定） －

時 間	内 容
13:00～13:10	オリエンテーション
13:10～13:40	久慈ブロック：嵯峨 翔 氏（社会福祉法人 健慈会 グループホームぬくもり） 副業解禁時代に私たちはどう働くか？ －社会福祉士の働き方意識調査アンケートに基づいて－
13:40～14:10	盛岡ブロック：鈴木 智之 氏（イーハトーブ地域包括支援センター） スーパーバイザー視点による個人スーパービジョンの展開と質の評価に関する －考察 －スーパービジョンにおけるダイナミズムを俯瞰し、振り返る手法について－
14:10～14:40	実践研究委員会：千葉 陽 氏（社会福祉法人 寿生会） 「孤独の最期」とその支援を考える －高齢者施設への入所から死後事務に関わった一事例の考察－
	休憩 5分間
14:45～15:15	基礎研修①：野村 明生 氏（レッツ倶楽部盛岡南） 先制型アウトリーチとジェネラリストソーシャルワークの必要性 －重層化支援体制整備事業への期待－
15:15～15:45	基礎研修②：堂脇 友則 氏（矢巾町地域包括支援センター） 新型コロナウイルス感染拡大時における利用者支援体制の在り方について －高齢者の自粛生活長期化による心身状態への影響を考える－
15:45～16:15	基礎研修③：飛澤 友香利 氏（みやこ西部地域包括支援センター） 統合失調症を抱える被補助人の支援について －心理社会的アプローチの実践－
16:15～16:30	総評・閉会